

平成29年度 月島第二小学校における重点目標

中央区立月島第二小学校 住所 中央区勝どき1-12-2

校長 鈴木 政博

児童数 551名 学級数 20 教職員数 32名(60名)

教育目標

○ 心の豊かな子ども ○ よく考える子ども ○ たくましい子ども

平成29年度の重点

ユニバーサルデザインの考え方に基づく学級づくりと指導

重点目標1 「勉強を教えてくれるから、学校が好き」 確かな学力の向上を図る

評価項目：全ての児童にとって、分かりやすい授業への授業改善

- ① あらかじめ授業の流れや段取りを伝えることや、板書やプリントで大事な部分を色分けすることなどの授業の工夫がされている。
- ② ICT機器の活用によって、児童の困難が軽減されている。
- ③ 分かりやすい授業のために、教室の掲示物が工夫されている。
- ④ 安心して過ごしやすい教室の整備、活動しやすい学級風土づくりが進められている。
- ⑤ 授業改善や指導方法の工夫を図り、ベーシックドリルを活用して算数科での基礎・基本の定着を目指す。

評価指標：①～④について児童、教員、保護者、外部評価委員の肯定的評価80%

- ⑤ 算数科では今年度も各学年の2学期に前学年の内容の80%以上の正答率を指標とする。

重点目標2 「へんじ・あいさつ・あとしまつ」 礼儀正しい子どもを育てる

評価項目：日本人としての自覚をもち、次の3点を柱に学年に応じて指導する

- ① 大きな声で、へんじをする：自分を大切にする
- ② 気持ちのよいあいさつをする：相手を大切にする
- ③ きちんとあとしまつをする：みんなを大切にする

評価指標：①～③について児童、教員、保護者、外部評価委員の肯定的評価80%

重点目標3 特色ある教育活動の充実

評価項目：本校の特色ある教育活動をオリンピック・パラリンピックと関連付け、中央区オリンピック・パラリンピック教育の「4つの柱」による学習として展開していく。

- ① マイスクールスポーツとして「なわとび」を重点化し、体力づくりへの意識を向上させる。(体力向上)
- ② 「人に学ぶ、人と学ぶ」活動を通してボランティアマインド、障害者理解を推進し、**ハートフル学習**を充実させる。
- ③ **中央区版一校一国運動を通じた学習**として「礼法」「囲碁教室」「国際交流教室」を充実させる。
- ④ オリンピック・パラリンピックの精神の涵養、環境学習の促進により、

オリンピック・パラリンピック学習を推進する。

評価指標：①「体力調査」の数値結果を分析して前年度と数値比較する。

②～④ 児童の「東京 2020 ノート」の抜粋を教員の自己評価の資料とする。外部評価委員会において、総合的に評価する。

家庭や地域との連携

- 「たより月二」、ホームページ、学年・学級だより等による学校からの発信を充実させる。
- 教員はP T A・地域行事への積極的に参加すると共に、保護者には学校行事・保護者会等への協力を依頼して、相互の連携を図る。
- 重点目標の周知を図り、保護者に自己評価アンケートに協力してもらう。